

## 1. RD（アール・ディエンジニアリング）最終処分場問題について

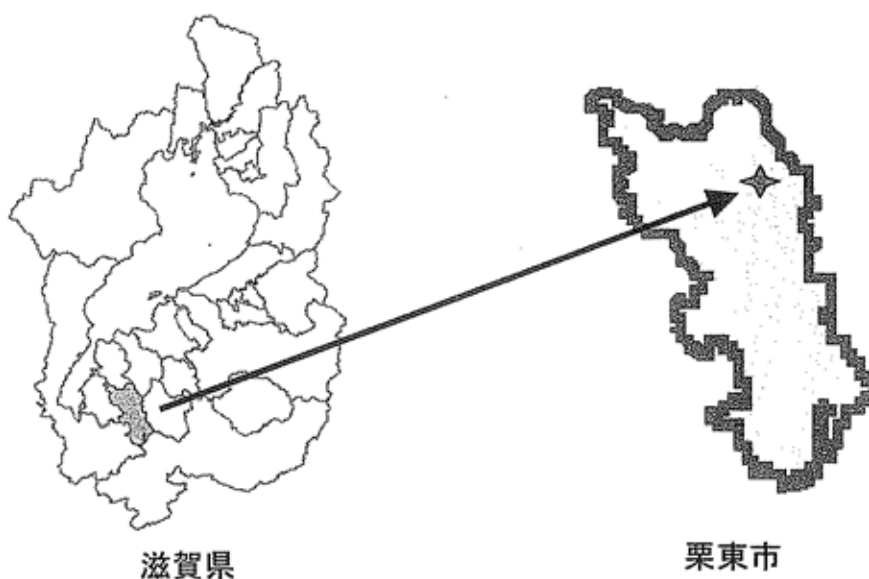
平成11年10月にRD社（※）の最終処分場から高濃度の硫化水素ガスが検出され、地下水汚染も問題となりました。このため、県は改善命令を出し、是正工事を完了させましたが、その後の調査でドラム缶が埋められていることがわかりました。県はRD社にその撤去等を命令しましたが、今年6月に経営破綻し、同社による対応が見込めなくなっています。

現在、処分場は破産管財人がその財産を管理している状況にあり、処分場の監視については、県と栗東市の協働で、週5日以上実施しています。

県はRD問題の解決のため、平成18年10月に対応方針（案）を策定しました。

※RD社：株式会社アール・ディエンジニアリング。廃プラスチックやがれき類等を埋め立てたり、焼却処理などをしていた産業廃棄物処理会社です。RD社から既に最終処分業と中間処理業の廃止届を受理しており、現在、廃棄物の埋立てや持ち込みはされておりません。

## 2. 位置



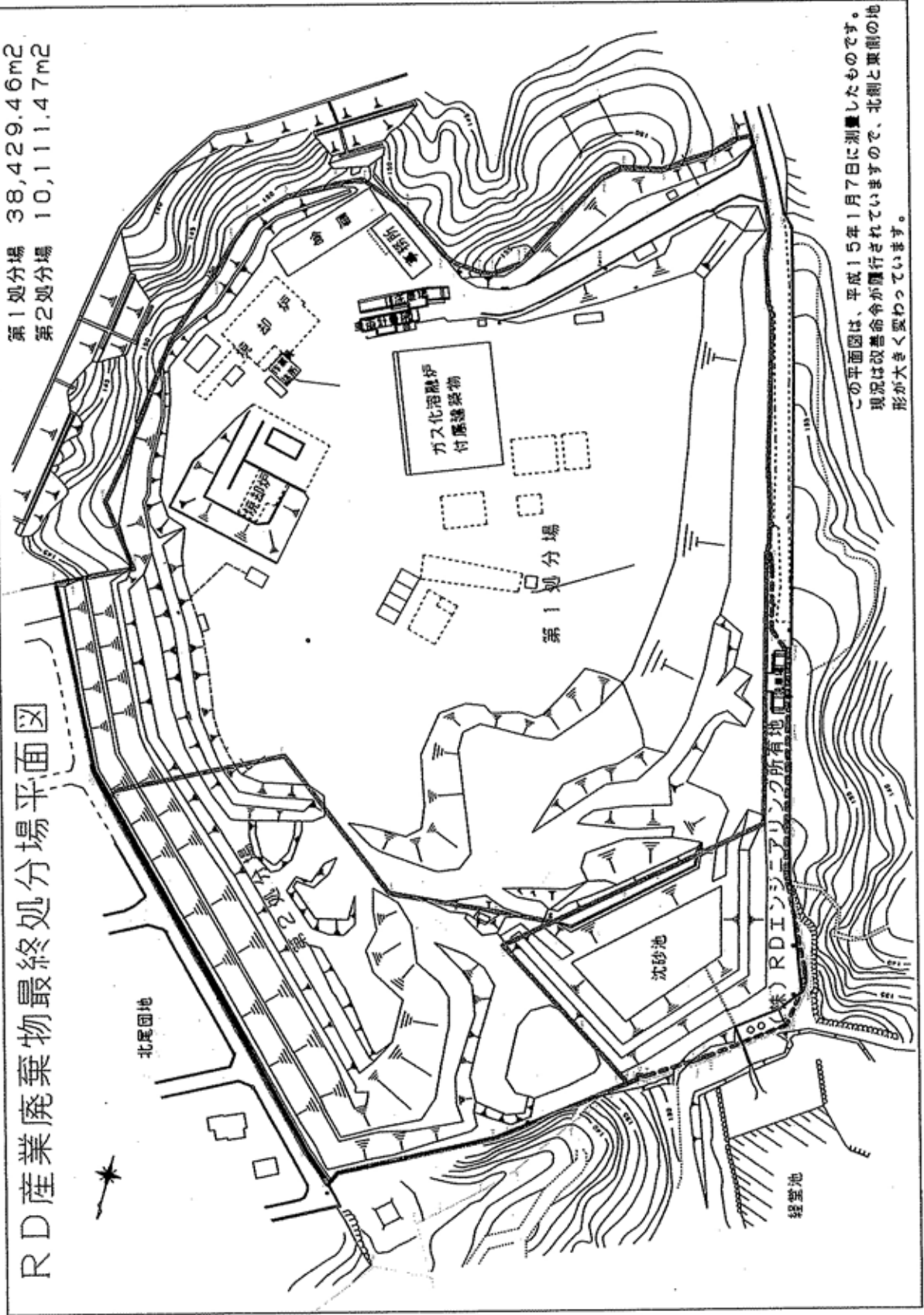
(株)アール・ディエンジニアリング（平成17年航空写真）

## 3. 処分場の施設許可状況

・所在地	滋賀県栗東市小野7番地1 他33筆		
・施設許可	第1 面積 38,429.46㎡	容量単位 320,529m <sup>3</sup>	
	第2 面積 10,111.47㎡	容量単位 80,659m <sup>3</sup>	
	計 48,540.93㎡	容量単位 401,188m <sup>3</sup>	
・許可内容	安定型最終処分場（廃プラスチック、ゴムくず、ガラスくずおよび陶磁器くず、がれき類）		

第1処分場 38,429.46m<sup>2</sup>  
 第2処分場 10,111.47m<sup>2</sup>

RD産業廃棄物最終処分場平面図



この平面図は、平成15年1月7日に測量したものです。  
 現況は改善命令が履行されていますので、北側と東側の地  
 形が大きく変わっています。